

さぬき市の小学生がレタスの包装体験を実施！

▼発生年月日：2022/1/17

▼執筆者名：佐治 博子、平田 早貴子

▼センター名：東讃農業改良普及センター

▼部門分類：野菜

▼活動分類：食農業教育・食育

▼公開：公開

▼備考：

▼本文

1) 1月17日、さぬき市立長尾小学校において近隣のレタス生産者 木村一夫氏を講師に招き、4年生78名（3クラスに分かれて実施）がレタスの包装体験を行いました。この取組みは、大川学校給食共同調理場と普及センターが連携して取り組んでいる体験学習の一環で、包装したレタスは、昨年10月29日に木村氏のほ場において児童自らが定植したものです。

2) 当日は、木村氏からレタスの包装方法について実演しながら説明を受けた後、児童全員にレタスと包装用のラップが配付され、各自が持ち帰るレタスを包装しました。児童は、大きく育ったレタスの外葉を取り除いたりしながら、家庭で食べるのを楽しみに包装しました。

木村さんのレタスは給食用のため、市場に出回るものより大きく、調理で熱を通して食感が残るよう肉厚に作られていることから、思い通りに巻けず悪戦苦闘する児童も見受けられましたが、友達と助け合って包装しました。

3) 木村さんのレタスは、さぬき市内の幼稚園、小学校、中学校の給食に約4,000個提供されることとなり、1月の全国学校給食週間（1月25日～1月31日）である25日には「レタスのちしゃもみ」、28日には「レタス入りコーンスープ」のメニューとして登場し、2月にも使用される予定です。

4) 普及センターでは子供たちに地場野菜への愛着を育んでもらうため、今後も、関係機関や協力農家と連携して、農業体験学習の実施を支援するとともに、地産地消の推進を図っていきます。



実演により説明する木村一夫氏



熱心に包装する児童